

公表: 令和4年3月30日

事業所名: 児童発達支援放課後等デイサービス 糸

		チェック項目	評価	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	十分な広さがあり、ホール、学習室、個別の部屋と分かれています。。有意義な使い方を考えていき構造化を図っていくことを今後、積極的に進めます。
	②	職員の配置数は適切であるか	×	もう少し職員が多くても良いと感じています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	△	玄関など段差はありますが、十分に補助をしています。何をやる部屋か子どもたちは分かっています。用途により使い分けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○	消毒など行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△	会議の時間が少ないです。来年度は定期的にとれるように工夫していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	評価表を真摯に受け止め改善に向けていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	昨年は集計したものを配布、ホームページに掲載しました。今年はホームページで公開致します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	現在は 外部評価は行っていません。今後考えていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	研修会の案内や事業所内研修の機会を設けています。児童発達支援センター「おがる」の機関支援を受けています。事業所内研修、ZOOMを受けています。
適切	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	△	独自のものは検討中です。医療機関での結果を計画に反映させています。保護者のニーズ、課題を共有し立案しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	△	独自のものはありませんが、医療機関で発行している検査結果を保護者と共有して支援計画に活かしています。

な 支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	ガイドラインを参考に計画をしていることを、保護者にも伝えています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	記録に計画を添付し日々確認できるようにしています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	意見を聞きながら計画を立案していますが話し合いの時間が短い為に十分に出来ていません。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	継続してねらうもの、単発で楽しむものなどメリハリをつけて工夫しながら療育を行っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	個別療育の日、小集団療育の日と分かれています。ねらいもそれぞれに持っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	活動の確認、欠席を含め確認しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△	送迎時間終了や勤務終了時間が一致していないので送迎車の中で話し合うような形になっています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	連絡帳のほかに日々の個人記録を記入しています。複数の職員が関わり記入しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	6か月を目途にしているが大きな環境変化などに合わせ見直しを行っています。
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	必要に応じて連携をしています。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	—	現在は退所して保育園などに移行するというお子さんはいませんでした。その様な事になったら情報共有など致します。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	—	現在は事業所退所して小学校などに移行するというお子さんはいませんでした。その様な事になりましたら情報共有など致します。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	児童発達支援センター「おがる」の機関支援を長きにわたり受けています
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	△	殆どの子が何らかの大きな集団に所属しているので積極的には行っていません。栄公園で遊ぶ時に利用児ではない子と一緒に遊ぶ事があります。公園で遊んでいる高学年の子がサッカーの相手してくれる事があります。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	児童発達支援管理責任者が毎回積極的に参加しています。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	写メや動画を送り変化や成長を共有できるように努力しています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	△	例年、メンターさんをお呼びして研修会を開催していますがコロナの関係で実施できていません。連絡帳で困り感のあることなどについてアドバイスしたり一緒に考えています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に時間をかけて説明しています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	印鑑をいただく前に提示、指摘事項があれば修正箇所、加える点など教えて頂き、修正してから同意をいただいています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	連絡ノート、ライン、電話を利用して話し合いをしている。今後は茶話会のような形式で開催して子育ての話を一緒にしていきたい。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	△	以前は保護者会を開いていましたが、コロナでこの1年はできていないのが現状です。コロナ終息後は積極的に行いたいと思っています。父母の会は無くても良いという意見が大半を占めています。しかし、連携という事になると必要な場面もあり必要性を感じています。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	ご相談のあった時は出来るだけ早く対応しています。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	糸だより(毎月発行)や合わせ日記(毎週発行)を発行し発信しています。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報の流出防止に努めています。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	口頭よりラインの方が分かりやすいという方には父母とグループラインを作り情報を共有しています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	地域のお祭りの参加など積極的にやってきたが現在はお祭りの中止により協力できていない。ご近所の方がお庭を畑にして貸してくださっている。町内の方からお手伝い頂いている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	△	マニュアルはすべてそろっていますが、お見せすることを忘れてしまうことがあり以後気を付けていく。避難訓練は年に数度は必ず行っています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	年間の計画に基づいて行っています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	フェイスシートにて確認しています。予防接種は確認していません。来年度様式を作り確認させていただきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○	医師からの診断、指示を保護者様から教えて頂き対応しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	全員が見れる場所にあり共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	児発管が虐待の研修に参加し伝達しています。(今年度)虐待についてリーフレットを供覧しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	-	現在は身体拘束の必要な児童は在籍しておりません。必要になった時は、保護者の理解、個別支援計画の記載など行っていきます。

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員が事業所の自己評価をするものです。